

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第8号

2009年3月19日

Tel: 3605-5594

<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

暖かい春の日、湯島天神・旧岩崎邸・谷中銀座散策

かばら歩こう会

菜種梅雨も途切れた3月7日、かばら支部の第二回の「歩こう会」は湯島天神から谷中銀座をという下町散策を行いました。午前9時半に綾瀬駅ホームに集まったのは、83才の元気なおばあちゃんも含めて12人(千駄木で1人合流)。地下鉄で湯島へ。今年は暖冬だったためか「梅まつり」の期間中



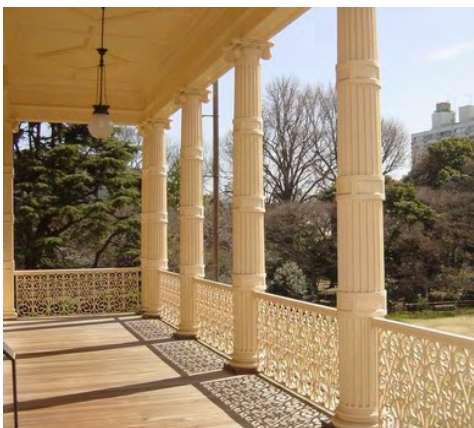
したが、梅は終盤でした。菅原道



真公にあやかろうと入学祈願の絵馬と合格のお礼の絵馬が分厚くつり上げられていて、今年も御利益があったようです。丁度、神前結婚式の方に出会い白無垢の花嫁さんの姿も見られて、皆さん喜んでいました。



つづいて旧岩崎邸庭園へ向かいました。ここは明治29年に三菱財閥を起こした岩崎氏の本邸でジョアン・コンドルの設計による西洋木造建築で、重要文化財に指定されています。外観はもとより邸内の贅をつくした内装や調度品に一同ため息をついてしまいました。



そして完成当時は20棟以上あつたという広い庭に出てしばし休憩

朝のうちほどんよりとした曇り空でちよつと寒かったのですが、この庭に出たくらいから薄日もさして暖かく行楽日和となりました。このあと地下鉄で千駄木へ移動。駅近くの大島屋でお蕎麦を食へました。近くの菊見煎餅でお土産を買ったりした後、よみせ通りから今日の目玉でもある「谷中銀座」へ。



テレビ等でも再々取り上げられて、地元の人より観光の人がいつも賑わっています。お肉や、総菜や、靴屋、花屋からフティックなど色々な店が軒を連ねる60店舗の商店街。早速名物のメンチカツを食べながらビールを飲む人も、こんな活気のある商店街が全国に広

がる日が来ると良いのになあと思っているがそろそろ歩きました。



この後「朝倉彫塑館」へ。中へは入らずに正面玄関で記念撮影の後「谷中墓地」へ。横山大観の墓や高橋お伝の墓、五重塔あとなど見て、少し歩き疲れたので「愛玉子」オーギョウチーへ。寒天に似ているデザートで台湾産の果実の種からつくるもので大変珍しく、日本で愛玉子を食べられるのはこの店だけとのこと。谷中の名物をしっかり堪能しました。

このあと明治時代の吉田屋酒店を見学。この後は千駄木駅へ坂を下り千代田線に乗る予定でしたが手違いから鶯谷経由となつてしまい、皆さんにはご迷惑をおかけしました。全体としては天候に恵まれて楽しい下町散歩になりました。

案内人 清水 扶佐子

日常活動の紹介

折込作業・新聞・催し案内



東都保健医療福祉協議会と友会の機関紙「下町の健康」や足立健康友の会かばら支部の「支部ニュース」をはじめ「健康まつり」・「新春のつどい」などの各案内やお知らせを毎月第3木曜日にわいわいにぎやかに折込作業を行っています。

今年はこの折込作業にここ数回新たな会員さんが参加しています。

「今日、傘寿の誕生日だぐだれも祝ってくれないから、みなさんにお世話になっているのでお礼の品を持ってきました。」

とか、最近折込作業をしながら

ら地域の安売り情報やどこのお店がつぶれてしまったねとか情報交換もしています。

私の故郷 薄井 吟治

水郡線（水戸→郡山）の茨城県境に近い磐城棚倉が私の故郷です。八溝山地の麓から発した久慈川が、常陸大宮近くまで水郡線に沿って流れています。東北新幹線が出来るまでは、帰郷はきまつて水戸廻りでした。久慈川が見え出すと自分の故郷が急に近づいた気分になりました。

旧棚倉町のほぼ中央に江戸時代の初め、丹羽長重の築いた城跡があります。今は内堀しか残っていませんが、ほとんど石垣のない城跡で、子供の頃は物足りませんでした。が、今では土塁の樹木と堀の水が調和していて、かえって



棚倉城址

趣を感じていきます。帰郷の折は、ここの散策が楽しみです。長重は

後に白河と二本松に石垣の立派な城も築いています。

城の入口に樹齢六百年といわれる大ケヤキがあります。築城のために城の西北の町はずれに移された延喜式内社、旧国幣中社の都々古別神社があります。古代は入野と言われていたことから、陸奥に入る最初の地という意味もあつたのではといわれています。

新しいところでは、少々気恥ずかしくなりそうな「ルネサンス棚倉」という名の第三セクター、リゾートスポーツプラザがあつて、けっこうにぎわっているようです。

東京大空襲訴訟2周年 人間回復めざす大集会

3月10日、みなさんこの日にちが何の記念日がわかりますか？

今から、63年前の昭和20年3月10日未明、東京の南東部の江東・墨田・江戸川の下町一体に「B29」爆撃機325機が1665トンという想像もできないほどの焼夷弾を逃げられないように最初に四角に落として延焼させ、その後、逃げ惑う住民の上に「これでもか！」と言わんばかりに2時間にわたり落とし続け10万人を焼き殺した日です。

国は軍人には手厚く戦後63年たった今でも援助をつづけ、一般の戦争被災者には何の補償もしていません。親や兄弟を失いながら



生き残り残つた人が「人間回復をめざし」を相手

に裁判で訴えました。訴訟を起こして2年になる3月10日に浅草公会堂で1100人が集い、みんなの力で戦争を起こした国の責任を明らかにし、被災者に補償を勝ちとるまでたたかうことを誓いました。

副支部長 渡辺 政次

蒲原診療所のニューフェイス

森倉明代さん

昨年3月、柳原病院より異動になり蒲原診療所へ来ました。

出身は長野県安曇野。昭和54年、都立の看護学校の3年生の時、研修で柳原病院を訪れ、良い印象を持ったので就職しました。入職当初は外科病棟勤務の看護婦として活躍しました。結婚して子供さんの誕生と共に外来看護課へ移り、耳鼻科、眼科、神経内科など、ほぼ専門外来は一回りして、経験を

積み重ねて来ました。

この3月、蒲原診療所で看護師長の交代があり、新しい看護師長として森倉さんが推薦を受けました。今まで看護師長をしていた岩下純子さんが、この3月で定年退職になったためです。蒲原診療所は職員の皆さんが協力し合つて、患者さんのサービスに熱心で、心強い所です。また、患者さんが優しく受け入れ、友の会役員さんの支えも、身近に感じ取れる診療所だと思っています。これら周囲のみなさんの力を振り所として、これから頑張つて行きたいと思ひます」と新看護師長としての抱負を語っていたいただきました。森倉さんは地道に仕事を進めるような人に見えます。新師長をみんなで盛り立てて行きたいと思ひます。

取材 嶺岸宏

かばら花見の会 ご案内

4月4日(土) 午後1時~3時
東綾瀬公園(スイスランド前)

会費 お一人 1000円
手料理の持参は大歓迎です

